

極域データサイエンスに関する研究集会

日 時： 2023 年（令和 5 年）2 月 20 日（月） 11:00 ～ 18:00

場 所： データサイエンス棟 1 F（大会議室 H108）、
及び Zoom によるオンライン形式によるハイブリッド開催

概 要：

本集会では、近年のオープンサイエンスに関する国内外の状況を踏まえ、極域の多様なデータセットを用いたデータサイエンスに関する最近の現状について情報交換を行う。

特に「AI」や「機械学習」など、先端的なデータサイエンス手法を用いた研究の最前線の話題提供を募る。合わせて、その研究推進の基盤となるデータシステム、データ公開手法、データ共有・データ出版、データジャーナル等、データの長期保全・公開に関する現状・問題点や将来計画、並びに極域科学研究推進に向けて期待されるデータベースの機能等について議論する。さらには、関連する大学・機関によるデータサイエンス教育の実践例、等を含めた多方面の関係する話題についても情報交換を行い、今後の方向性を議論する。

プログラム：

【所属：記載無しは全て、極域環境データサイエンスセンター（PEDSC）】

【ROIS-DS-JOINT：データサイエンス共同利用基盤施設 公募型共同研究】

11：00 ～ はじめに：集会の主旨と概要

11：10 - Part I

進 行：金尾政紀

（各 20 分、質疑応答を含む）

- PEDSC の活動紹介（対面）

門倉 昭

- 宇宙線観測データの公開とデータ駆動型研究

【ROIS-DS-JOINT】（オンライン）

加藤 千尋（信州大学）

- 南極エアロゾル・雲観測データの長期変動解析とデータライブラリーの整備

【ROIS-DS-JOINT】（オンライン）

原 圭一郎（福岡大学）・*平沢尚彦（極地研）

（昼 食）

13：00 - Part II

進 行：門倉 昭・高橋邦夫

（各 20 分、質疑応答を含む）

- 機械学習による地磁気変動予測 【招待講演】

(オンライン)

中野慎也 (統数研)

- 機械学習による昭和基地からみる大気中微量物質の輸送予測システムの構築
【ROIS-DS-JOINT】(対面) 鈴木 香寿恵 (法政大学)
- 機械学習を用いた南極氷床における表層積雪の堆積剝離パターンの分類手法評価
【ROIS-DS-JOINT】(オンライン) 杉浦 幸之助 (富山大学)
- 全地球電気回路研究のための地上大気電場観測データのデータベース化とデータ解析システムの開発 【ROIS-DS-JOINT】(オンライン) 鴨川 仁 (静岡県立大学)
- レーダーインバージョン観測のためのアンテナ空間特性精密推定技術の開発
【ROIS-DS-JOINT】(対面) 西村 耕司 (京都大学)
- 南極上空大気重力波の気球実験におけるイリジウム衛星通信データの解析システムの構築 【ROIS-DS-JOINT】(オンライン) 加保 貴奈 (湘南工科大学)

(休憩)

15 : 30 - Part III

進行 : 奥野淳一・金尾政紀

(各 20 分、質疑応答を含む)

- 南極インフラサウンド観測活用のための PSD 及び FK 解析可視化 Web ページ構築
【ROIS-DS-JOINT】(オンライン) 柿並義宏 (北海道情報大学)
- 微小な地殻ひずみ信号検出のための解析技術の確立と超精密観測記録の活用
【ROIS-DS-JOINT】(対面) 大久保 慎人 (高知大学)
- オープンサイエンス時代の重力観測・データの流通と利活用
【ROIS-DS-JOINT】(対面) 名和 一成 (産総研)
- 機構賛同型コンソーシアムで接続された研究機関・大学との連携によるデータ駆動型研究の促進 【ROIS-DS-JOINT】(対面) 阿部 修司 (九州大学)
- 極域統合データプラットフォーム (AMIDER) (対面)
小財正義
- ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS) の活動紹介 【招待講演】
(対面) 五斗 進 (DBCLS)
- 意見交換

~18 : 00 閉会